

## ● character

はさみ脚は黄色く、部分的に赤い斑紋があり、前2種に比べて太い。頭胸甲は鮮やかな朱色で、部分的に黄色い模様がある。歩脚は赤味を帯びた透明で、関節部分は黄色い。体長1.5cmほどになる。紀伊半島以南の南日本を含む西部太平洋に分布する。最近和名が提唱された種類で、沖縄では岩壁の穴から顔を出す姿がしばしば撮影される。

## ● observation

僕が子どものころに放映されていたロボットのキャラクターの名でダイバーに親しまれてきた本種は、潮通しのいい外海のサンゴ礁域に生息します。水深5mほどの浅場から、40mくらいの深場まで幅広い水深で見られます。真正面からこの子を見つめると、童心に戻ってしまう僕がいます。



## アナモリチュウコシオリエビ

*Munida olivariae* Macpherson, 1994

Location: イマズニ

Depth: -10m

Length: 1.2cm

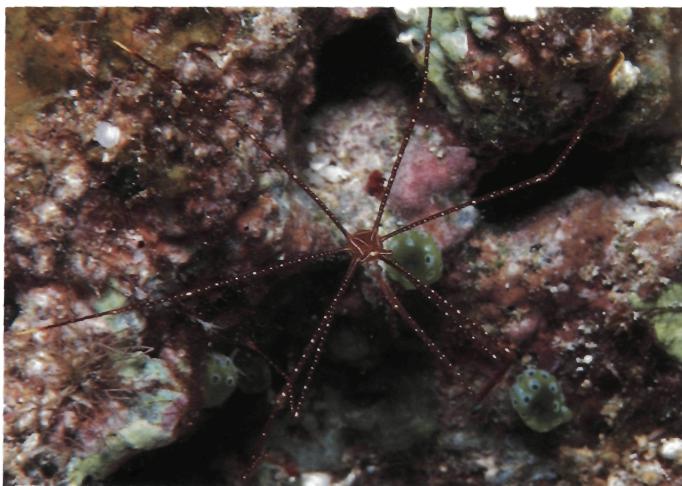
## ワラエビ科 Chirostylidae

## ● character

ウミカラマツ類と共生する。関東地方以南のダイビングスポットでよく見られるオルトマンワラエビ(*C. ortmanni*)の近似種。本種のほうがはさみ脚や歩脚にある白色点が大きく、数も多い。現在、分類学的研究が進められている。幅5cmほどになる。沖縄本島と久米島、西表島で分布が確認されているが、琉球列島のその他の島にも広く分布しているものと思われる。

## ● observation

潮通しのいい外海のサンゴ礁域に生息するウミカラマツ類、クロサンゴ類、イソバナ類、ヤギ類などを宿主としています。動き方が酔っ払いの千鳥足風で、ときおりゆらゆらしながら歩く姿が愛らしい。いつか、すてきな和名がつくといいですね。



## ワラエビ属の一種

*Chirostylus* sp.

Location: シチューガマ

Depth: -15m

Length: 1cm



### クダヤギクモエビ

*Uroptychus kudayagi* Miyake, 1961

Location: 堂崎  
Depth: -20m  
Length: 0.8cm

#### ● character

クダヤギ類を宿主とするため、この名がある。頭胸甲に比べてはさみ脚や歩脚が極めて長い。全体的に透明感のある白色で、額角や眼などの“顔”の部分とはさみ脚の関節部分のみ赤紫色。体長2cmほどになる。従来は、相模湾から天草諸島までの南日本暖温帯域からしか知られていなかったが、今回琉球列島にも分布していることが明らかになった。

#### ● observation

潮通しのいい外海のニクイロクダヤギにペアで生息します。宿主の幹の枝分かれする根元部分に隠れており、体の模様も宿主に合っています。とても見つけづらいのですが、根元部分にライトを当てゆっくり探していくと、色鮮やかな彼らが見えてくるはずですよ。



### クモエビ属の一種

*Uroptychus* sp.

Location: 小学校沖  
Depth: -30m  
Length: 0.8cm

#### ● character

ウミカラマツの仲間と共生する。頭胸甲に比べてはさみ脚や歩脚が極めて長く、はさみ脚と歩脚には長い毛を備えている。全体的に透明感のある白色で、褐色の点が散在する。体長3cmほどになる。本種は未記載種と思われる。従来知られていたクモエビ類の多くは深海域のもので、ダイバーが潜水する水深帯にはどのような種が存在するのかは今後明らかにされていくだろう。

#### ● observation

潮通しのいい外海のドロップオフの壁にできたオーバーハング上部のクロサンゴの仲間を宿主として生息します。稀種ですし、宿主に対する体色の見事な溶け込み具合でとても見つけづらいのですが、あくなきチャレンジ精神で「いつかはきっと……！」と、信じてがんばってください。